

2016 年度春期 東京校・大阪教室

※福岡教室は前号(第 51 号)に掲載

卒業式並びに中医薬膳師資格認定式が行われました



卒業生の皆様、輝くことを期待しています。 学院長 辰巳 洋

本日、ご卒業される 23 期・通信生の 78 名の皆さん、おめでとうございます。今年は東京校だけではなく、福岡教室も大阪教室も初めての卒業生を送り出すことになりました。

時の流れが早いものです。薬膳を勉強したくて本学院を選んで入学することは昨日のようなことですが、もう卒業日になっています。いかがでしょうか?一年間の学習で求めた知識を取得しましたか?

皆様は社会人ですので、お仕事をもち、家庭をもち、忙しい毎日の中に自分に属する時間はあまりないと思いますが、そのような僅かな時のみ学習し、大変と理解しています。また、今までの全然違う学問、厚い教科書、見たことのない読めない漢字、やらないと卒業できない宿題、いやになることがあると思います。しかし、皆様が努力して困難を乗り越えて、本日の卒業式に臨むことを嬉しいこととなります。

これから、薬膳の仲間として、日本で中医薬膳学の普及と一緒に頑張りましょう。本草薬膳学院は専門家を育てる学校です。中医薬膳師コースでの一年の学習は入門の学習になります。世の中に薬膳が流行になり、薬膳をやっている方、店が増えてきています。時代は薬膳の専門家を求める時代になっていますので、継続して勉強することは大事ですので学校がいろいろな研究科を開設していますからご参加をお勧めします。通学できない場合、研究科の通信教育も始まりましたので、せっかく勉強した薬膳の知識を引き続き深く学習してゆくことを勧めます。

学習することは、勉強するほど知識が身に着け、自分の仕事に役に立ちます。これから薬膳の分野で皆様の輝くことを期待しています。

簡単ではございますが、今日の卒業の日が、皆様のより健康で、より薬膳の学習と普及に向けて歩くことを祈念して祝辞とします。本日、ご卒業、おめでとうございます。



2016 年度 春期卒業生名簿

通学コース(東京校)・通信教育コース

【50 音字順、敬称略】

23 期 中医薬膳師平日コース【17 名】

安登 加壽子 石井 佳良子 稲永 紀子 井上 奈々子 井上 聖雪 奥平 純子
加藤 由季 杉原 陽子 助野 純子 綱島 弘子 野村 まき子 濱中 啓子
林 智子 松本 久仁子 村上 有子 森本 佐知子 柳澤 眞理子

23 期 家庭薬膳平日コース【2 名】

鈴木 知子 肥後 知歩

23 期 中医薬膳師土日コース【16 名】

内山 圭子 浦上 夕里 上條 詔子 末武 千里 角田 幸恵 對間 智子 中澤 正昭 平井 静子
藤原 妙子 堀田 奈緒美 増田 智恵美 松尾 真由子 村山 英美 門間 勝弘 安江 愛子 吉川 亜希子

通信教育コース【26 名】

有賀 忍 池田 繭美 岩渕 加奈子 梅田 恵美子 浦邊 直子 太田 奈菜江 岡本 鏡子
落合 紀子 加藤 裕子 柄澤 文子 木曾 匠子 工藤 寛代 栗林 綾子 神津 和沙
品田 彩木 白濱 綾子 竹内 佳江 田島 さとみ 田中 節子 手嶋 千穂美 中村 富代子
百石 理恵 藤本 みゆき 箕口 けい子 宮崎 誉子 森 由加理



答 辞

23期 中医薬膳師土日コース 内山 圭子

本日はこのように素晴らしい卒業式を行っていただき誠にありがとうございます。

振り返ってみればあっという間の1年間でした。私の場合、ただ中国文化への興味の延長と、還暦を記念して何か学んでみようという単純な動機で始めた薬膳学でしたが、中国4000年の歴史に裏付けられ、「整体観念」と「弁証論治」の思想に貫かれた中医学の世界は学べば学ぶほど興味深いものとなりました。何十年ぶりの宿題に悪戦苦闘しながらも、学生に戻った気分で、本当に充実した1年をおくることができました。

本日、この本草薬膳学院中医薬膳師コースの修了証書と中医薬膳師の資格をいただきましたが、薬膳師として、やっと一步を踏み出したというところです。中医薬膳学の世界は大変奥深く、多くの知識を求められるものです。中医薬の理論を取り入れて、弁証論治、中薬、食材の正しい知識に基づいて、薬膳を提供するにはまだまだ勉強不足です。これからも生涯をかけて学び続け、『黄帝内経素問』の未病の精神に則り、自分だけでなく周りの人たちの健康維持、老化防止に役立てていければとおもっています。

劉先生をはじめ青木先生、萬屋先生他、皆様のご指導に感謝申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻くださいますようお願いいたします。

皆様のご活躍をお祈りし簡単ですがお礼の言葉とさせていただきます。



東京校・通信教育生 春期卒業式
2016.3.21
ビジョンセンター東京

ご卒業おめでとうございます

講師 飯田 和子

本草薬膳学院第23期生並びに通信生みなさま、本日はご卒業おめでとうございます。みなさまが本草薬膳学院に入学され、卒業される今日まで、どれだけ薬膳の勉強時間を生み出す努力をされたことでしょうか。遠方からの通学や、お仕事やお子様の学校行事との調整だけでなく、宿題やグループワークの時間を作り出し、すべてのカリキュラムを終了されました。最後まで諦めず頑張った姿は素晴らしいと思います。教科書に書かれた言葉は難しく、戸惑うことも多かったと思いますが、卒業テストの時にはその言葉を巧みに用いて弁証論治を繰り広げられました。五季の薬膳や陰陽五行を学び、中医学の授業を重ね、薬膳メニューを考えてこられた積み重ねが薬膳の理解を深めた結果に他なりません。

薬膳は知れば知るだけ興味は深くなってまいります。薬膳の森に迷い込んだみなさまが道を探し続けるヒントは本草薬膳学院にあります。みなさまは本日卒業されますが、あくまでも通過点と思っていただき、これからも本学院の卒業生として長く薬膳の道を歩んでいただきたいと願っております。1人では出来ない事も、力を合せることで可能になります。共に薬膳の有効性や面白さを発信し続ける仲間として頑張りましょう。

みなさま、ご卒業おめでとうございます。



祝 辞

講師 萬谷 圭香

本日は、ご卒業おめでとうございます。この1年、通信生の方は2年に及び、お忙しい中で時間をやりくりして勉強を続け今日を迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。

大人になつて挑戦する勉強として、薬膳を選んだいかがでしたか？ 中医学理論に基づいた本格的な薬膳は、食材や中薬の勉強に加え、中医学も勉強しなければならず、思っていた以上に難しかったと思います。でも、だからこそやりがいもあったのではないのでしょうか。

中医学の独特の概念や専門用語に戸惑いを感じ、どんどん進む授業に不安になることもあったかと思えます。

その上、たくさん出る宿題も、お忙しい皆様にとつては、実に厄介だったでしょう。しかし、宿題に取り組むことが、家での学習につながり、薬膳の全体像を把握する大きな助けになったと思います。努力の甲斐があり、卒業テストのころには、弁証論をこなすまで理解が進み、素晴らしい前進を遂げられていました。

中医薬膳師コースで勉強した事は、大切な基礎です。これを土台にこれからも勉強を続けて、西洋医学や栄養学とは異なる見地でも、身体の中で起こっている現象を把握して行ってください。

不調を生む根本原因は、身体のバランスの崩れです。薬で症状は治まっても、根本のバランスの崩れを調えるのは、食生活を始めとする養生の積み重ねです。

健やかな毎日を送れるように、これからさらに、中医学の観点で身体を見る目を養い、薬膳の知識でバランスを調える力をつけて行かれることを願っております。

本日は本当におめでとうございます。

大阪教室 卒業式 2016.3.16

場所：中国料理「春蘭門」 ホテル阪急インターナショナル 2階

2016年度 春期卒業生名簿 大阪教室

中医薬膳師コース【10名】

池田 紀美代	木村 恵美	古城 由美子	提中 知子	野田 佳代子
増田 友美	増田 優華	村本 裕美	山口 玲奈	山下 知子

【50音字順、敬称略】



祝辞

本草薬膳学院・大阪教室 講師 渡辺 真里子

みなさま、本日はご卒業おめでとうございます。

思えば、今からちょうど1年前はこの大阪教室の開講が決まってほっとしたものの、果たしてどんな方たちが集まってくださるのか、どんな雰囲気になるのか、そもそも私自身が1年間講師として無事に務まるのかどうか不安に感じていた時期でした。1年経って今日この日を迎えられたことは感無量という以外に言葉がありません。

さて、みなさまが入学された日、ごあいさつの中で「これから目の前に広がる中医学・薬膳という広い広い海を楽しみながら進んでいってほしい」というようなお話をいたしました。今振り返ってみて、みなさまにとってこの1年はどんな航海だったでしょうか？ 順風満帆の時もあれば、波風に揺られたり先が見えずに不安に感じたこともあったでしょう。もしかすると転覆して沈みそうな思いに駆られたこともあるかもしれません。でも今改めて見てみると、以前とは全く違う景色が見えていることと思います。どうかそこまでたどり着けたことをぜひ誇りにしてください。そして、この1年の航海の中で経験したことをぜひこれからのご自身の人生の糧にさせていただきたいと思えます。

中医学の海はまだまだ広く深いです。私自身が見えている範囲もほんのわずかです。

ぜひこれからも一緒にこの海を楽しみながら渡っていきましょう！

改めまして、本日はご卒業本当におめでとうございます。



答辞

大阪教室第一期 中医薬膳師コース 池田 紀美代

日ごとに寒さも緩み、春の色が濃くなってきたこの良き日に、私たちは卒業を迎えることができました。

本日はご多忙にもかかわらず、私たち卒業生の為に劉先生をはじめ渡辺先生、福田先生にご列席いただき、また心のこもった式典をご用意下さり、卒業生一同心より御礼申し上げます。

思い返せば昨年の四月、不安と希望を抱えながら入学したことが、つい昨日の事のように思われます。年齢も生活環境も全く違う十人。それぞれの思いを胸に本草薬膳学院の門をくぐりました。

講義では難解な専門用語が飛び交い、中医学理論の理解に苦しみ戸惑いの連続でした。渡辺先生の噛み砕いた説明と笑顔にずいぶん助けられました。そして薬膳や中医学の世界がより一層魅力的なものに感じられました。

しかし頭の中はまだ点と点の状態でその点を頭に叩き込むのに必死でした。十月から劉先生の授業になり、グレーがかっていたものが少しずつクリアになっていきました。点と点であった知識が線となりつながっていく感じがしました。まさしく中医学の世界観に触れる授業でした。

福田先生は、午前中の授業で頭がパンパンになった私たちを温かい笑顔で迎えて下さり、料理の準備や細やかなアドバイスをしていただきました。

実習においては、身近にある食材は勿論、初めて中薬などを使い、スッポンや鶏一羽など、一般家庭ではなかなか料理しないようなものがあり、大変興味深く楽しいものでした。

しかし、宿題は予想をはるかに超えた量で何度も心が折れそうになり投げ出したくなることもありました。そんな時、仲間が大きな励みになりました。

世代も個性も違う十人でしたが、皆でいるとどんなことでも乗り越えられると感じました。いつも明るい雰囲気があり、苦しみも半減しました。

そんな素晴らしい仲間との出会いや実り豊かな時間を授けてくれた本草薬膳学院に感謝します。

本日にあつという間の一年間でした。各々の生活背景によるトラブルやアクシデントにも負けず、誰一人欠けることなく勉強を続けることができました。そして共に過ごした時間は大変に貴重なもので人生の大切な宝物となりました。

本日私たちは本草薬膳学院を卒業します。まだ薬膳学の入り口に立ったばかりの私たちですが、更に勉強し精進を重ね、薬膳の発展に尽力することをお誓い申し上げます。

最後になりますが、いつも陰になり日向となり励ましてくださった先生方、温かく応援してくれた家族、この支えの中で私たちは今日卒業を迎えられました。本当にありがとうございました。本草薬膳学院の益々のご発展を願い、答辞とさせていただきます。



2016 年度国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師 資格認定試験が行われました



桜の花もちょうど見ごろだった2016年4月9日(土)～10日(日)の2日間にかけて、東京駅近くのビジョンセンター東京にて「2016年度国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師 資格認定試験」が行われました。今年は何年以上に受験希望者が多く総勢94名、そのうち、通学生は41名(東京26名・福岡6名・大阪9名)、通信生は20名、東京栄養士薬膳研究会からは33名が試験に参加しました。



2016 年度国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師 資格認定試験合格者一覧

国際薬膳師・国際薬膳調理師 【27名】

山形県 濱中 啓子	埼玉県 荒巻 芳江	手嶋 千穂美	森本 佐知子
千葉県 奥平 純子	鈴木 恵代	綱島 弘子	神奈川県 荒井 たいこ
東京都 稲永 紀子	井上 聖雪	加藤 由季	小寺 順子
平井 静子	松本 久仁子	村上 有子	長野県 有賀 忍
大阪府 池田 紀美代	氏家 陽子	木村 恵美	中東 典子
			増田 優華
			石井 佳良子
			高瀬 智亜紀
			竹内 佳江
			林 智子
			滋賀県 提中 知子

国際薬膳師 【59名】

北海道 山田 夕紀子	埼玉県 伊藤 順子	齊藤 典子	西 文	堀田 奈緒美
千葉県 佐藤 比呂子	田口 圭子	田中 好恵	弟子丸 紀子	
東京都 鮎川 徳子	伊藤 栄恵	井上 奈々子	岩淵 加奈子	梅田 恵美子
小池 慶子	小出 勢津子	小林 頼子	佐藤 美輪	四方 尚子
角田 幸恵	田中 宏子	堤 ゆ佳り	羽田 恵	土方 利美
和田 身江子	宮城県 太田 奈菜江	茨城県 増田 智恵美		
神奈川県 石井 恭子	大塚 亜希子	加藤 弓子	上條 詔子	木曾 匠子
吉田 芳子	岐阜県 安江 愛子	静岡県 森 由加理		愛知県 百石 理恵
滋賀県 川端 秀美	森 玲子	大阪府 浦邊 直子	村本 裕美	山口 玲奈
兵庫県 坂野 美津子	山下 知子	奈良県 野田 佳代子	山口県 五十嵐 九重	
香川県 増田 友美	福岡県 大久保 千絵理	豊田 由美子	森永 早紀子	
宮崎県 藤本 みゆき	鹿児島県 丸山 裕子			

国際薬膳士 【3名】

埼玉県 氏家 晴子	東京都 村山 英美	神奈川県 石垣 千鶴
------------------	------------------	-------------------



(50 音字、敬称略)



- ◆ 「本草つうしん」は HP(ホームページ)内にて創刊号～最新号(52号)までカラー版をダウンロード出来ます。
- ◆ HP、ブログ等を持っている方で、本草薬膳学院の HP にリンクを貼りたい方は学院までご連絡ください。(但し、HP やブログの内容によってはリンク出来ない場合がありますので予めご了承下さい。)

■ ■ ■ ■ ■ 本草薬膳学院 HP <http://www.honzou.jp/>